

# アウト・オブ・民藝

雑誌『工藝』51号(1935)で農美術批判

柳宗悦  
1889-1961

雑誌『月刊民藝』(1940)で対談 民藝と民俗学のすれ違い

柳田國男  
1875-1962

# 雪國の民俗

版畫 勝平得之(第1法規 1977)

## 民俗学



『叢園』百号記念特集号(1977)



『東北の民俗』(1937) 仙台鉄道局編

なぜこれは「民藝」じゃない?  
「民藝」の周縁を巡り歩き、外側から「民藝」をのぞきこみ、時に入り込み、また「民藝」の周縁を歩く。「アウト・オブ・民藝」が秋田にきた!

協力 秋田市立赤れんが郷土館、CNA秋田ケーブルテレビ、油谷これくしよん、誠光社

「方寸」1907-  
日本創作版画協会 1918  
自由画運動 1919

山本鼎  
1882-1946

農民美術運動 1919  
山本鼎が始めた農民期の農民たちは、美術工芸品の制作指導を行い、生活の安定と生きがいを与えようという運動。



農民美術

料治 創作版画運動に影響を受ける

平塚運一  
1895-1997

「木工・木彫」実用手工藝  
大講義男子部 (1925) より

木村五郎  
1899-1935

1928  
秋田県立美術学校

ポッチ『版芸術九月号』勝平得之特集号(1935)より

『白と黒』で民藝合流以前の様方の特集

藤田嗣治  
1886-1968

1936 秋田で交流

勝平得之  
1904-1971

1935, 1936 とタウトは秋田を訪問。勝平と熱い友情を交わす

## 1935



『ブルーノ・タウト 雪の秋田へ』1936年2月9日付 秋田魁新報

棟方が世に出る前より交流し、晩年まで親しく

夢二にあこがれ美術の世界へ

料治熊太  
1899-1982

料治朝鳴名義でも活動。  
有坂與太郎の創生玩具メンバー  
白と黒社主宰『白と黒』『版芸術』など発行

## 創作版画



勝平得之制作の蔵書集 木地山系こけし(秋田)

創作版画運動 1904  
自画自製自摺で版画  
(複製芸術)の複雑を  
うたった山本鼎が始めた運動。

竹久夢二  
1884-1934

夢二にあこがれ高校時代より交流

天江富弥  
1899-1984

こけし研究のバイオニア  
で夢二コレクター

今和次郎  
1888-1973

1936、東北更新会指導委員となり、「民家研究会」設立に参加。「雪の余」を発足。

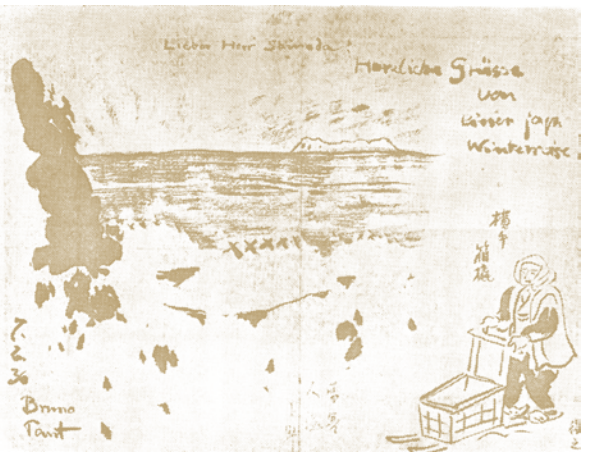
# 東北の玩具



『版芸術九月号』勝平得之版画集 (1935)

## 郷土玩具

日本各地で作られてきた玩具は、地域の生活や文化を表現し、人々の心を豊かにする役割を果たしている。信州に伝わる「こけし」や、秋田に伝わる「こけし」など、各地の特色を反映している。



ブルーノ・タウト、上野伊三郎、勝平得之の寄せ書き(1935)秋田にて『叢園』勝平得之追悼号(1971)より



『こけし道子』(1928) 天江富弥著

## 東北



石坂洋次郎編  
勝平得之文庫  
東北温泉風土記

『東北温泉風土記』(1940) 石坂洋次郎編 勝平得之画

1917、白手会で日本の民家の調査

主催 秋田公立美術大学、NPO 法人アーツセンターあきた 企画 宇野澤昌樹、軸原ヨウスケ、中村裕太

# アウト・オブ・民藝



## 秋田雪橇編 タウトと勝平 1935.1936

# 2020.1.18—5.10

2018年度「BIYONG POINT企画公募」採用企画

### 資料でたのしく見る秋田のアウト・オブ・民藝

書籍や印刷物による「アウト・オブ・民藝」相関図

本展の導入として、民藝運動の周縁的な工芸運動を扱った書籍や印刷物、さらに、民藝発足以前から蒐集の対象であった郷土玩具にまつわる人的なネットワークが、いかに民藝運動と関わってきたのかを相関図によって展示する。

ブルーノ・タウトと勝平得之にまつわる文献資料、戦前の秋田の民具

ブルーノ・タウトと勝平得之が秋田で出会った1935年、1936年はさまざまな工芸運動が盛んな時期であり、両者は、民藝運動と近い人物に接触していた。タウトが秋田での滞在を記した『日本美の再発見』や、勝平が残した関連資料を時系列に並べていくと、当時の秋田の景色を追想することができる。

さらに、タウトの著書のなかで登場する秋田の民具（雪橇、農具、衣服など）を、油谷満夫さんが収集してきた戦前の秋田の膨大な民具コレクションの中から選んで展示する。

ブルーノ・タウト (Bruno Taut) [1880-1958]

ドイツ・東プロイセンケーニヒスベルク生まれ。第一次世界大戦後は、都市復興計画に関わり多くの集合住宅を手がけた。1933年に台頭するナチスを避け、日本国際建築学会の招聘を受けて来日する。宮城県仙台の国立工芸指導所や群馬県の工業試験場高崎分場の嘱託として工芸品のデザインと技術指導を行う。1935年5月と1936年2月に秋田を訪れる。

勝平得之 (かつひら・とく) [1904-1971]

秋田市鉄砲町（現大町6丁目）生まれ。竹久夢二の作品に魅了され、美術の道を志す。農民美術運動の木彫講習会での木村五郎、来秋したブルーノ・タウトに大きな影響を受けた。色刷版画の研究をし、独学で自画、自刻、自摺による彩色版画の技法を習得する。郷土秋田の自然や風俗をテーマにした作品を一貫して制作。秋田を訪れたタウトの水先案内人となる。

### アウト・オブ・民藝 秋田雪橇編 オープニングトーク 関連イベント①

版元である誠光社の堀部篤史氏を招聘し、旅人・軸原、中村両氏と案内人・宇野澤氏も交えて、「アウト・オブ・民藝」についてのなかよしトークを行う。

日時：2020年1月18日(土)16:00—18:00

会場：BIYONG POINT(ビヨンポイント)

登壇者：堀部篤史、軸原ヨウスケ、中村裕太、宇野澤昌樹

参加費無料(申し込み不要)

### 油谷これくしょんツアー ※事前申し込み制 関連イベント②

「油谷これくしょん」(秋田市)に収蔵されている約20万点のコレクションの一部を、油谷満夫さんご本人による解説を聞きながら巡るツアー。

日時：2020年1月19日(日)13:00—15:00

会場：油谷これくしょん(秋田市金足片田字待入109)

定員：10名/先着順 参加費無料

#### お申し込み方法

下記のフォーム(もしくはQRコード)よりお申し込みください。

<https://forms.gle/twnjKlRj6MJmA7276>

締め切り：1月18日(土)18時まで

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

※当日は、現地集合・現地解散となります。



「アウト・オブ・民藝」は軸原ヨウスケと中村裕太が行う「\*民藝」の周辺をめぐるリサーチ活動である。リサーチの対象となるのは、1926年の民藝運動発足当時に起きていたさまざまな工芸運動、それらにまつわる人、物、出版社などのネットワークである。

軸原と中村は、それぞれの関心をベースに「民藝」の外と内を行き来しながら、文献資料を手にし、未知の人に出会い、豊かな手仕事「民藝」の外側にも沢山あることを体感し、「相関図」という手法によって民藝運動の周縁的な動向を明らかにしてきた。また、京都の書店「誠光社」での全5回にわたるトークと資料の展示をもとに、「アウト・オブ・民藝」2019年を刊行した。

本展覧会は、「民藝」の外と内の関係を、資料を使って示す「アウト・オブ・民藝」の相関図に加えて、軸原、中村に香川から秋田に移住した宇野澤昌樹も加わった3人による秋田でのフィールドワークの成果を公開するものである。

\*民藝運動(1926-)とは柳宗悦・河井寛次郎・浜田庄司らによって提唱された生活文化運動。名も無き職人の手から生み出された日常の生活道具に美を見出し「民藝(民衆的工芸)」と名付けた。

ブルーノ・タウト / 勝平得之 / 山本鼎 / 木村五郎  
上野伊三郎 / 料治熊太 / 今和次郎 / 棟方志功  
柳田國男 / 西川友武 / 竹久夢二 / 柳宗悦  
天江富弥 / 藤田嗣治 / 雪橇 / カマクラ / 東北  
農民美術運動 / 創作版画運動 / 工芸指導所  
郷土玩具 / 野良着 / ゲテモノとハイカラ / 秋田  
民具 / 油谷満夫

KEYWORD

#### 軸原ヨウスケ(旅人)

岡山県を拠点に活動するデザインユニット「COCHAE(コチャエ)」のメンバー。「遊びのデザイン」をテーマに、新しい視点を持った玩具の開発、出版企画や商品開発など幅広く活動中。cochae.com

#### 中村 裕太(旅人)

美術家。京都精華大学特任講師。「民俗と建築にまつわる工芸」という視点から陶磁器、タイルなどの学術研究と作品制作を行なう。近年の展示に「表現の生態系」(アーツ前橋 2019)など。nakamurayuta.jp

#### 宇野澤 昌樹(案内人)

東京造形大学卒業後、出版社で働きながらアーティストと関わり、展覧会のサポートや上映会の企画などをおこなう。その後も、土地や地域・場所と結びついた表現や、芸術以前の創造行為、芸術の起源を想起するような表現に注目し活動中。

#### 堀部 篤史(版元)

学生時代より恵文社一乗寺店でアルバイトを始め、2015年8月まで同店店長を務める。独立後、本屋の新しいあり方を提案・実験する「誠光社」を立ち上げ、店舗運営、イベント企画、出版などを手がける。seikosha-books.com

## BIYONG POINT

秋田 公立 美術 大学 ギャラ リ ー

秋田公立美術大学ギャラリー-BIYONG POINT(ビヨンポイント)

〒010-0976 秋田市八橋南1-1-3 CNA秋田ケーブルテレビ社屋内

秋田駅西口バスターミナルより、秋田中央交通バス2・3・5番線乗車  
「県立体育館前」[秋田市保健所・サンライフ秋田前]停留所下車、徒歩3分

※お車の方は、CNA 秋田ケーブルテレビお客様駐車場をご利用いただけます。



【お問い合わせ】NPO 法人アーツセンターあきた

〒010-1632 秋田市新屋大川町 12-3 秋田公立美術大学アトリエももさだ内

Tel : 018-888-8137 E-mail : info@artscenter-akita.jp

Web : <https://www.artscenter-akita.jp>

会場  
アクセス